

月刊 建材 ナビ Navi

特集省エネ・CO₂削減効果に優れた
クリーンな作業環境の創出を実現する
「高速シートシャッター」

特集病院・老健・学校向けのバリアフリー
対応商品として高成長をキープする
鋼板軽量引き戸／折れ戸

特集自然の風を取り込む「風の道」をつくり
快適な住環境を演出する住宅用天窓



<p>省エネ</p> <p>断熱・遮熱</p> <p>Before After</p> <p>夏は涼しく、冬暖かく！</p>	<p>快適</p> <p>結露抑制・防音</p> <p>80dBが</p> <p>約40dB</p> <p>結露抑制と高い遮音性で、 やすらぎの時間を。</p>	<p>安心</p> <p>防犯・安全</p> <p>視覚的效果</p> <p>+</p> <p>時間かせぎ</p> <p>窓を二重にして 防犯対策。</p>	<p>お手軽</p> <p>スピード施工・簡単施工</p> <p>一窓あたり 60分 スピード施工</p> <p>短時間の施工で 満足度の高い効果を。</p>	<p>どこでも</p> <p>戸建てにもマンションにも</p> <p>居室から浴室まで 洋室・和室etc...</p> <p>どのお住まいにも 快適生活を実現！</p>
---	---	---	--	---

YKK AP株式会社
 お客様相談室 ☎0120-72-4134 ※携帯・PHSからは0570-07-4134(有料)へ
 ●受付時間/月曜～土曜9:00～17:30(日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く)
<http://www.ykkap.co.jp/>

窓を考える会社 YKK AP



3月号
No.184

が少なく環境負荷を低減できること。さらに、重ね張りのできるほか、軽量屋根材に葺き替えて減震できる。日本建築防災協会の「住宅等棒技術評価」を取得済みの工法。

ニチハ

窯業外装材「オフセットサイディング」、
「EHCOCITY 製品大賞」特別賞

ニチハ(山中龍夫社長)は、窯業系外装材「オフセットサイディング」で、日経BP社主催「EHCOCITY 製品大賞」の特別賞を受賞した。

「オフセットサイディング」は、柱の製材後にのこる背板、端材などを木材チップ加工し、外壁材の原材料として使用し生産される。こうした木材の有効活用が、木が生長過程で吸収したCO²を閉じ込める(固定化する)効果が認められ、地球温暖化防止に貢献し、森林育成による地域の活性化などが期待できる仕組みとして評価されたもの。

日本インシュレーション

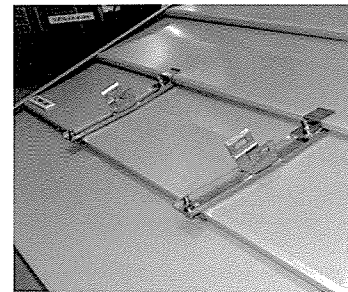
北勢工場の遊休地をメガソーラー
発電システム設置用地として賃貸

日本インシュレーション(大橋健一社長)は、三重県いなべ市の北勢工場の遊休地を、中部電力グループのシーエナジーにメガソーラー発電システム設置用地として賃貸した。設置・運営はシーエナジーが行ない、敷地面積約3万㎡に2023kW規模のソーラー発電システムを設置する。年間発電量は200万kWh(一般家庭555世帯分の年間使用電力量に相当)を想定する。年間746トンのCO²削減効果が見込まれている。

元旦ビューティ工業

「元旦ソーラーパネル取付金具」の屋根に穴を
開けない「横葺き屋根専用」取付金具を新開発

元旦ビューティ工業(松木亮亮社長)は、屋根に穴を開けない横葺き屋根専用(自社製品)取付金具を新開発し、「元旦ソーラーパネル取付金具」シリーズに追加した。



「横葺き屋根専用」のソーラーパネル取付金具は、屋根に穴を開けずに、パネル取付金具を横葺き屋根に置き、上下2点をボルトで固定する施工方法。屋根のプロでなくとも簡単に信頼性の高いソーラーパネル取付工事ができることが特長。当面は元旦の自社横葺き屋根のみに対応する。

「元旦ソーラーパネル取付金具」には、屋根に穴を開けず一発締め・ハゼ締めタイプのアルミ押出型材を採用した「ハゼ式折板屋根用」や「立平葺き屋根用」、また、剣先を使わず自由なレイアウトが可能なゴム付で高防水仕様の「重ね式折板屋根用」など豊富なバリエーションがある。いずれも強く、軽く、簡単施工で信頼できるソーラーパ

ネル取付工事を行なえることがセールスポイント。

これらは日本で最初に屋根一体型ソーラー発電屋根を開発した金属屋根のプロとしてのノウハウ・技術に裏打ちされている。金属屋根工事における実績は、日経アーキテクチャ&日経ホームビルダーの建築専門家を対象にした「採用したい建材・設備メーカーランキング2013」の金属屋根材部門1位にも表れている。

最高級ブランドホテル「ザ・リッツ・カールトン京都」に
「元旦スプリングルーフ 850」
「元旦一文字S」4700㎡施工

元旦ビューティ工業は、2月7日開業した最高級ブランドホテル「ザ・リッツ・カールトン京都」(京都市中京区鴨川二条大橋畔)に、同社最高峰横葺き屋根「元旦スプリングルーフ850」「元旦一文字S」が採用されている。

これは京都の街並みに調和し「和の追求」の設計に応えたもので、板厚0.45mm・フェライト系ステンレスサンドブラスト加工を屋根材に約4700㎡を施工。

「元旦スプリングルーフ850」「元旦一文字S」は、スプリングバックハゼによる高い耐風圧性能をはじめ、地震・台風につよく、伝統的な美しい納めができることが特長。施主:積水ハウス、設計監理:日建設計、施工:大林組大阪本店。

「高速シートシャッター」は、食品の安全性を管理する方式「HACCP」や、医薬品・医療器具の製造管理「GMP」等に適合する安全な製品の製造・流通が求められる食品・医療関連分野に採用されて脚光を浴びた。

食品関連分野では、製造工程だけではなく、製品に使用される包装、化成品、印刷物などを含めたトータルな安全管理が求められる。人やフォークリフト等が頻繁に出入りする作業現場は、最適な環境保全を求められる。そのためには出入口部(入退室)の防虫・防塵対策が不可欠で、従来タイプの電動シャッターでは対応が難しかった。

高速シートシャッターのトップブランド・小松電機産業の「門番」シリーズは1985年に新開発されたものだが、その前身は防寒対策用の折りたたみ式シャッターであったという。いまの高速開閉・高気密性・安全性・高耐久性を特長とする、「高速シートシャッター」市場が形成される過程は、小松電機産業の進化する「門番」の歴史に重なる。

風や風圧差につよいパイプ式70% 高速開閉のパイプ式30%の比率

「高速シートシャッター」には、大きく分けて外部用と内部用の2つのタイプがある。パイプ式は外部用、パイプレス式が内部用として採用されるケースがおおい。

いまでも主力商品であるパイプ式は、風や風圧差につよいことを活かし、外部用として防火シャッターと併用した使われ方が一般的だ。

一方、パイプレス式は、何よりも高速開閉が魅力である。「門番G109」は上昇速度3.0m/秒の高速開放を実現した。また、万が一衝突してもシートが外れる安全性の高い構造を採用。外れたシートも自動復帰するからメンテナンス費用も削減できるなど、パイプ式にはない機能が付加されていることが特長だ。

最近の「高速シートシャッター」は、建物内部の環境保全効果が高い評価を得ている。高速開閉により開閉にともなう冷暖房ロスを抑え、CO²削減効果が高めることが、日本シャッター・ドア協会・高速シートシャッター委員会の主導のもとに実証さ

れて、日本環境協会より2010年にエコマーク認定を取得している。

さらに、パイプレス式は、屋内専用タイプとしてコンパクト化が図られ、小開口スペースへの対応、工場設備機器への組み込み、あるいは生産ラインと連動したシステム機器など、新たな需要の獲得をめざした商品開発がふえてきた。

いずれも問仕切りの使い方の提案である。そのためにはコントローラーや操作パネルを、本体にコンパクトに収納する設計技術が前提となるが、屋内用を浸透させるうえでクリアすべきテーマでもある。こうした問仕切りの使い方は、建物内に省エネ効果の高いクリーンな空間を、必要に応じて自由に設計することができる。高速シートシャッターの更なる拡大をささえる機能として注目される。

2012年度販売台数約1万7800台と
拡大、小松電機産業・空間価値を創造
「happygate 門番」で業界をリード

高速シートシャッター市場には、小松電機産業の「happy gate 門番」シリーズをはじめ、三和シャッター工業の「クイックセーバー」「フレクシー」シリーズ、文化シャッターの「エア・キーパー大間迅」「大間迅ミニ」シリーズ、ユニフローの「スムーザー」「JETTER(ジェッター)」シリーズなど市場を形成する。LIXIL鈴木シャッター、ワールドも取り扱っている。

2012年度販売台数は約1万7600台と推定される。2012年度の着工床面積をみると、工場及び作業所847万6346㎡(前年度比15.9%増)・7746棟、倉庫647万7771㎡(17.5%増)・1万3881棟と大幅に増加した。高速シートシャッターの主力マーケットである工場・倉庫の増加に支えられるように販売台数も増加をつづけている。

小松電機産業は約6300台と推定される。2014年1月末現在の累計販売台数も14万台を超えた。空間価値を創造「happygate 門番」シリーズに商品体系を再編成し、屋内パイプレス式「Gシリーズ」、屋外パイプ式「Rシリーズ」を中心に、「冷蔵冷凍庫」「防爆区域」「装置組込門番ユニット」などの豊富な商品バリエーションで構成する。パイプレス式30%、パイプ式70%の販売比率。クリーンさを重視する食品関連分野を主力分野に、「エアカーテン

「エアシャワー一体型門番」など高い技術力をベースにした新規用途開発で業界をリードする。

三和シャッター工業は約4900台と推定される。着実に前年実績を上まわる伸びをつづけており、2013年度も前年比8%増を見込む。売上高ベースでパイプ式65%、パイプレス35%の比率。スーパーマーケットのバックヤードや工場の屋内通口向けに新商品「クイックセーバー N12」を投入するなど、内部間仕切り向けの需要掘りおこしに力を注いでいる。

文化シャッターは約4000台と横ばいと推定される。パイプレス式の「エア・キーパー大間迅」は、外部・内部兼用タイプを品揃えしていることが特長。内部専用の「エア・キーパー大間迅ミニ」シリーズに新たに「ミニ・ビードタイプ」を投入している。従来品よりも気密性・静音性を高めた屋内向けの最重点商品として拡販を進めている。

ユニフローは約2400台と推定される。昨年、パイプレス式の「JETTER (ジェッター)」を発売し、屋内向けの対応をつよめた。食品工場などを中心にパイプレス式の販売比率はすでに15%程度を占めている。「JETTER (ジェッター)」のサイズバリエーションを拡大するなど、新たな需要獲得に取り組んでいる。

小松電機産業

工場などの環境を劇的に改善し空間価値を創造する「happy gate 門番」パイプレス式「Gシリーズ」新用途に注力

【商品構成】□空間価値を創造「happy gate 門番」——1985年の新開発以来、「門番」はユーザーニーズを先取りしつつ進化をつづけている。その最新モデルが、一昨年発表し、昨年ラインナップの販売を始めた「happy gate 門番」シリーズ。「門番」は当初、蛇腹式(折りたたみ式)で冬場の防寒対策として開発されたが、将来的に省エネルギーに社会的関心が高まることを予測し、現在の巻き上げ式の開発に着手したことが、進化する「門番」の第一歩となった。

防寒対策を目的に開発された「門番」はその後、高速開閉・高気密性・安全性・高耐久性といったシートシャッターに求められる技術的課題を次つぎとクリアする中で、最新モデルの工場などの環境を劇

小松電機産業・空間価値を創造
「Happy gate 門番」で
作業環境を間仕切りゾーン管理



的に改善し空間価値を創造する「happy gate 門番」へと進化を遂げた。これも決して最終形ではなく、さらなる改良、開発をつづけていることが、長年にわたりトップブランドとして信頼を得ている理由のひとつといえる。

「happy gate 門番」の商品体系は、屋内間仕切り向けの軽量・スリム・コンパクトな「パイプレス式」と、屋外用の風圧に強い「パイプ式」を主力に、「冷蔵冷凍庫仕様」「防爆仕様」「装置組込門番ユニット」などで構成する。トップブランドとして高く評価される理由は、ユーザーのニーズを先取りする新商品開発力であり、新規需要の獲得を可能にする豊富な商品バリエーションにある。

例えば、25℃～5℃の倉庫出入口や間仕切り用の「冷蔵冷凍庫仕様」や、エアー駆動+エアー制御方式を採用した「防爆仕様」、さらにはコンベア昇降機・パーテーション開口部・生産ライン・塗装・溶接ブースなどの設備に対応した「装置組込門番ユニット」など、「門番」シリーズのコンパクト化を実現することで、様々な用途を切り拓いている。

□商品特長——◆屋内用「Gシリーズ」:パイプレス式。業界最速の上昇速度3.0m/秒(G109)。反転上昇:中速1.5m/秒、接触時には低速0.5m/秒。従来に比べ約40%のコンパクト設計。製作範囲:幅600～4500mm・高さ600～4500mm。巻き取りボックス内もしくはム内のコントローラー内蔵モデル・中気圧差環境モデルコントローラー別置きモデル(全閉時20Pa以下の室内圧で衛生管理している部屋向き)。フレーム内に操作パネルとマルチモニターを標準装備。入退室カウント・表示。女性でも簡単に外せる安心構造とシート自動復帰機能。容易なフレーム交換で修理費を大幅に削減。高気密構造(防虫防塵効果の高いエアタイト構造。ホコリの溜まらないフラットスイッチ・センサー・カ

バー等。

◆屋外用「Rシリーズ」:風圧に強いパイプ式。新開発エンジンで高速上昇2m/秒(R054/109のみ)。製作範囲:幅600～10000mm・高さ1000～6000mm。巻き取りボックス部とサイドフレーム部をエアタイト構造で高気密性を実現。高耐圧高耐風モデル(R30W/40W)。コントローラーをフレームにコンパクトに内蔵。静かな開閉のローラーユニット。クッション構造の下端パイプにより衝撃を和らげ破損防止等。

【現況】高速シートシャッター「門番」シリーズは、1985年の発売以来、2014年1月末現在の累計販売台数は14万台を超えるトップブランドとして業界をリードする。

「門番」シリーズは、スチールシャッターの機能分解から発想され、商品化されたものだが、1991年に「中小企業研究センター賞」、ニュービジネス協議会の「ニュービジネス大賞」を受賞し、「門番」のブランド名を国内・海外に大きく広げた。その後も、リーディングカンパニーとして「門番」の改良・開発を続けて、業界トップの高速上昇・高気密・安全性を実現した「happy gate 門番」シリーズを開発、2012年に「第4回ものづくり日本大賞優秀賞」を受賞した。

「happy gate 門番」シリーズは、高速シートシャッターに求められる高速、省エネ、清潔、安全・安心の各機能を、いま考えられる最高の技術レベルで実現している。パイプレス式の「Gシリーズ」は屋内の間仕切り向けに、パイプ式の「Rシリーズ」は屋外向けに主に使われている。現在、その販売比率はパイプレス式30%対パイプ式70%と、風に強いパイプ式を主力に展開する。業種別の販売先をみると、製造工場や物流センターなどあらゆる業種をカバーしているが、防虫・防塵対策にすぐれた機能を活かすことができ、クリーンさを重視する包装や化学、印刷などを含めた食品関連分野での採用が多いようだ。

今後、施工実績を増やしている「エアカーテン/エアシャワー一体型門番」シリーズのように、他機器と連動した使い方の提案活動に力を注ぎ、高速シートシャッター「門番」の新たな用途の掘り起こしを目指している。「門番」を採用することにより、クリーンで快適なエコ空間、いわゆる価値ある空

間を創造できることがセールスポイントになる。

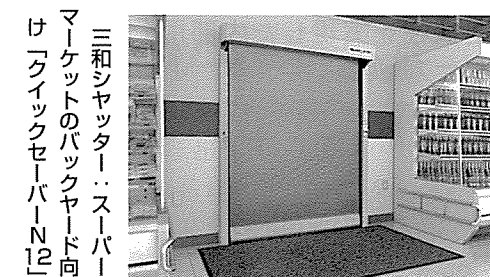
三和シャッター工業

高速シートシャッター「クイックセーバー」のコンパクト設計「N12」「S13」「フレクシー SR-N」で内部用を強化

【商品構成】□新商品——◆高速シートシャッター「クイックセーバー N12」:スーパーのバックヤードや工場・倉庫の屋内通口向けに開発された制御盤内蔵のコンパクト設計。特長は、上部ケースの高さを20cmに抑えて低い天井高に対応、自動開閉モードの選択が可能、100V電源の採用で施工を簡略化していること。安全対策としてブレークアウェイ&自動ドア復帰機能、非常時脱出機能、負荷検知機能、障害物検知機能を標準装備。開放速度1.0m/秒・閉鎖速度0.5m/秒。シートは防虫レッド・オレンジなど8種類。

□高速シートシャッター「クイックセーバー」——◆内部用<骨材なしタイプ>「S13」(制御盤内蔵のコンパクト設計、最大間口3m×3m、最高開放速度2.0m/秒・閉鎖速度0.8m/秒、単相200V電源) / 「フレクシー SR-N」(制御盤別置きコンパクト設計、最大間口4m×4m、開放速度2.5m/秒・閉鎖速度0.8m/秒)。◆内部・外部用<骨材なしタイプ>「フレクシー SR」(最大間口6m×5.5m、開放速度2.5m/秒・閉鎖速度0.8m/秒) / 「フレクシー SR-F」(食品工場に適した防虫半透明シート・防虫レッド、ステンスレール、勾配フードを採用。最大間口6m×5.5m、開放速度2.5m/秒・閉鎖速度0.8m/秒) / 「フレクシー SR-W」(最大間口:内部設置W10m×H5.5m・外部設置W8m×H5.5m、開放速度1.2m/秒・閉鎖速度0.8m/秒)。

◆内部・外部用<骨材ありタイプ>「GR-S」(普及タイプ。最大間口W6m×H5m、開放速度1.0m



三和シャッター工業
スーパーマーケットのバックヤード向け「クイックセーバー N12」

／秒・閉鎖速度 0.5 m／秒)／「GR-W」(最大間口: 内部設置 W10m×H5.5m・外部設置 W8m×H5.5m、開放速度 0.8m／秒・閉鎖速度 0.5m／秒)／「KR」(動作可能風圧 250Pa・風速 20m／秒の耐風圧仕様、最大間口 W 5 m×H 5m、開放速度 1.0m／秒・閉鎖速度 0.5 m／秒)／「KR-W」(最大間口 W 8 m×H5.5mのワイドタイプ、開放速度 0.6m／秒・閉鎖速度 0.5 m／秒)。

【現況】高速シートシャッター「クイックセーバー」シリーズは、コンパクト設計・骨材なしタイプの「S13」「N12」を投入し、内部用の商品バリエーションを強化している。最近増えている食品、薬品、自動車、金属加工などの工場出入口や内部間仕切りのニーズに対応するもの。商品バリエーションの拡大と共に、販売実績も前年比8%前後の成長を堅持している。

主力商品をタイプ別(売上高ベース)にみると、パイプあり65%、パイプなし35%と前年と変わらない。耐風圧仕様の「KR」に代表されるようにパイプタイプは、風に強いことをセールスポイントに根づいている。

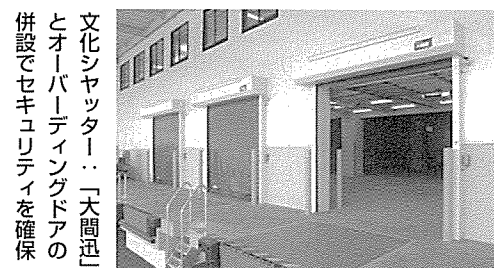
一方、骨材なしのパイプレスタイプは、高速開放閉鎖速度をセールスポイントにクリーンな環境を求める食品工場などを中心に広がっている。とくに建物内部の間仕切りとして採用されるケースがおおく、コンパクトな設計であることも求められている。パイプレスタイプには、内部・外部用の「フレクシーシリーズ」も品揃えているが、いまのところ外部用はパイプタイプの採用がおおいようだ。

海外展開では、ノボフェルム(欧州)、上海宝産三和門業有限公司(中国)、ピナサンワ(ベトナム)の拠点で現地生産・販売体制を構築し、シャッターを含めたトータルな事業展開を進めている。

文化シャッター

業界トップレベルの気密性・静音性・耐久性を実現した内部用「エア・キーパー大間迅ミニ・ビードタイプ」拡販

【商品構成】□重点商品——◆高速シートシャッター「エア・キーパー大間迅ミニ・ビードタイプ」: 本体のシートとレールの結合部に、従来のジッパーに替えて空気の流出入の少ない新開発の「ビード機構」(特許取得済)を採用し、業界トップレベル



文化シャッター「大間迅」とオーバーディングドアの併設でセキュリティを確保

の気密性・静音性・耐久性を実現した内部専用のミニシリーズ。「ビード機構」の採用で、従来品よりも空気流出入を7分の1に抑える高气密設計、開閉音15dB低減し59dBの静音設計を実現した。高耐久仕様でメンテナンスコストを削減できることもセールスポイント。最大設計範囲 W3m×H 3m、開放速度 1.5m／秒・閉鎖速度 0.8 m／秒。

□「エア・キーパー大間迅」バリエーション——

◆屋外屋内用「エア・キーパー大間迅「M1」」(マジックタイプ[M2]パワーの後継機。開閉機を上部駆動ドラムに内蔵するチューブラモータを採用。ボックス高さ17c m・袖寸法39.4cm、ガイドレール幅3.4cmのコンパクト設計。溶接レス・配線コネクタ化で施工時間を大幅に短縮。開放閉鎖速度1.2m／秒)／「マジックタイプ[M2]パワー」(開放閉鎖速度1.2m／秒)／「マジックタイプ[M3]オールウェザー」(開放閉鎖速度0.8m／秒。屋内最大設計範囲 W10m)。

◆屋内用:「ミニタイプ[MINI]」(開放速度1.5 m／秒・閉鎖速度0.8 m／秒)／「クラシックタイプ[C]スタンダード」(開放速度1.0 m／秒・閉鎖速度0.8 m／秒)等。

【現況】高速シートシャッター「エア・キーパー大間迅」は、高速開閉・高气密設計で、省エネ・空調効果、防虫・防塵・防臭効果をもつパイプレス式高速シートシャッターとして成長をつづける。パイプレス式にも関わらず、特許技術の強制駆動方式の採用で、内外気圧差のある環境下でも安定した作動を確保する高耐風圧設計もセールスポイントのひとつ。屋外屋内用に採用されている。

最近の屋内用ニーズの増加に対応し、従来よりも気密性・静音性を高めた「エア・キーパー大間迅ミニ・ビードタイプ」を開発、浸透に力を注いでいる。同時に、主力商品のマジックタイプ[M2]パワーの後継機で、コンパクト設計の「エア・キーパー大間

迅[M1]」の拡販に取り組んでいる。

販売先は、クリーンな環境を求める食品関連分野がおおい。とくに内部専用の「ミニシリーズ」は最重点商品。さらに、外部用としては防火シャッターと併用されるケースがおおい。パイプタイプを品揃えていない分だけ現場対応に難しさはあるが、メンテナンス費用のいらぬランニングコストにすぐれた高機能・高付加価値商品として提案活動をつよめている。

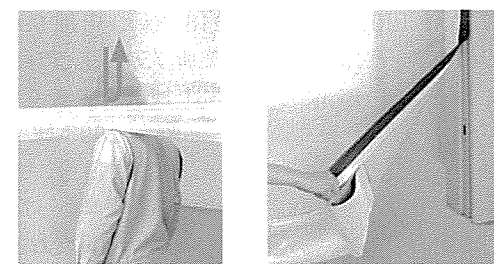
ユニフロー

屋内用パイプレスシートシャッター「JETTER」の発売で物件対応力を強化、食品工場を中心に引き合い

【商品構成】□新商品——◆屋内用パイプレスシートシャッター「JETTER(ジェット)」: 昨年2月新発売した同社初のパイプレスシャッターに、幅高さ最大4500mmまで対応する「JT-2T」(制御盤外付タイプ)を追加し、「JT-1」(制御盤内蔵タイプ)・「JT1T」(制御盤外付タイプ)の3タイプに増強した。特長は、自動復帰機能、反転上昇機能、容易な非常脱出、制御盤はボックス内(JT-1)に押しボタン・安全センサをレール内に内蔵させたコンパクト設計で省スペース・省配線化を実現。高速上下開閉(従来品よりも35%短縮)。メンテナンススペースを最小にして最大限の開口を確保。高气密オプション仕様を用意等。

□高速シートシャッター「スムーザー」(パイプ構造)——◆屋内専用タイプ・屋内外兼用タイプをはじめ、冷蔵タイプ、防爆対応タイプを品揃えする。特長は、パイプ式に関わらずA-3等級相当の高气密性能。風速換算値全閉時29.3m／秒の耐風圧性能。また、「電荷瞬間解消構造」(特許出願中)を採用した防

ユニフローパイプレス式「JETTER」



爆区域 Zone2 で使用できる防爆仕様タイプや、業界最大級の最大60㎡(W10m×H 6m)まで対応する超大型タイプなどの商品構成。そのほかに「内蔵バックアップ電源」、パイプが無理なく外れる「フラップシステム」、上昇スピード1.2m／秒の高速開閉による省エネ・エコ仕様なども特長。

【現況】屋内用パイプレスシートシャッター「JETTER」の開発・発売で物件対応力を強化している。昨年の新発売以来、「JETTER」の販売比率は15%程度まで拡大している。自動復帰機能付でメンテナンスコストが掛からずランニングコストで有利なパイプレス式のセールスポイントを活かし、食品関連分野を中心に浸透を強めている。

これまで実績のあるパイプ式の「スムーザー」を中心に展開している。業種別には、食品関係30%弱、医薬品関係15%、精密機器・金属加工関係10%を主体に、物流関係、店舗関係、自動車関係、印刷関係など幅広く対応している。これらの中でも業界トップブランドの「スイングドア」で浸透する大型店舗向けにつよみをもつ。

ここ数年、確実に販売実績を伸ばしており、屋内向けの「JETTER」の品揃えで更なる拡大を見込んでいる。また、海外展開でも、昨年夏にシンガポールに駐在事務所を設置(年度内に法人化)し、ASEAN地域における販売を強化する。

特集2 病院・老健・学校向けのバリアフリー対応商品として高成長をキープする鋼板軽量引き戸／折れ戸

2013 暦年全建築物の着工床面積は1億4767万2808㎡、前年比11.4%増と2ケタ台の伸びをみせた。この内、民間建築物は1億3809万㎡、4

年連続の増加。非居住用は4790万㎡、前年比11.8%増加した。

2013 暦年使途別の建築物数は、事務所1万